

【総合的な学習の時間】

単元名 「I ♡日野南カメラマン ～WE ♡を目指して、伝えようまちの魅力～」

『横浜の時間』 70h

第6学年2組 指導者 小川名 優貴

Ⅰ 単元について

<p>子どもの思いや願い</p> <p>「大好きな日野南のまちをみんなが好きになってほしい」という一人の児童の発言に、力強く頷く他の児童が多くいる学級で、来年度の記念すべき 50 周年に向けて「形に残るようなものをしていきたい」という思いをもっている。日野南のまちの人・もの・ことを中心に、日野南ならではのものを収めた写真集を制作したり、写真展を開催したりすることで、日野南の「今」の魅力を未来に繋いでいきたいという願いをもった。</p>	<p>材の価値</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが日野南のまちの魅力を追求するために、学校や地域の風景、地域の人を繰り返し撮影することで、自分達のまちのよさを実感するとともに、日野南のまちの魅力やまちの人の温かさに改めて気付くことで、それを周りに伝えたいという思いをもてる。 <学びの良さ> 子どもたちが日野南のまちの魅力を追求するために、学校や地域の風景、地域の人を繰り返し撮影することで、自分達のまちのよさを実感するとともに、日野南のまちの魅力やまちの人の温かさに改めて気付く、それをどのような形で伝えるか考える <問題を見出す> 子どもたち一人ひとりが来年度の 50 周年を迎える前に「学校やまちの魅力をたくさんの人に伝えたい」という気持ちを大切に、自分達が日野南の一員であることに誇りと愛着をもち卒業できるような活動にする。<夢や目標に向かって>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>単元目標</p> <p>ア「日野南のまちの人達をもっと日野南のまちを好きになってもらいたい」という思いの実現に向けて、学校や日野南のまちの魅力を写真展や写真集で発信する活動を通して、自分たちが暮らすまちの魅力や、学校に通う子どもたちを大切に思ってくれる人がいることを気付くこととともに、工夫を生かした活動が自分やまちの人のくらしをよりよくすることが分かり、自分たちが地域の一員として、地域の人々がつながり喜んでくれるためにできることを考え、行動しようとするができるようにする。</p>

<p>探究課題 写真を撮る活動を通して、学校やまちの魅力や地域の人々の思い。<まちづくり></p>

<p>他教科関連等</p> <p>国語「聞いて、考えを深めよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。 <p>国語「人を引きつける表現」</p> <ul style="list-style-type: none"> 比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。

育てたい子どもの資質・能力

知識・技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> 写真の被写体には時間による写り方の変化があることや写したいものに焦点を合わせるなど撮影には様々な技術を要することを理解する。 周年行事への写真展や写真集で参画がまちのつながりをより密なものにできる可能性があることを理解する。 日野南のまちには今まで気付かなかった魅力があることがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な写真を見て、「主張」「写真へのこだわり」「構成」などの特徴や良さに着目し、比較・分類することでそれぞれの写真の良さを捉える。 収集した情報を取捨選択し、表現の方法を工夫しながら学校やまちの魅力が伝わる写真展の開催や写真集を製作し、発信する。 自分たちの考えた写真集を広めるために適切な方法を考え、地域の方と協力しながら予算等についても考えて写真集を届けるための方法を具体的に見通して、実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校や日野南のまちの魅力を写真展や写真集で伝える活動を通して、まちに住む方々や活性化に尽力する方々と関わりながら、自分たちの住む日野南のまちの魅力を追求しようとする。 写真撮影に関する理解を深めるために、東京カメラ部(株)の T さんやプロのカメラマンさんと積極的に関り、インタビューを行ったり、一緒に撮影をしたりする。 写真集をたくさんの人に届けることで、まちの活性化に役立つことができた自分に気づき、地域の一員としてまちの活性化のために継続してできることを考え続けようとする。

2 単元構想

I ♡日野南カメラマン ～WE ♡を目指して、伝えようまちの魅力～

(全76時間 総合70 国語6)

1 来年度の50周年のお祝いの年に私たちにできることは何だろう (総合5時間)

- 自分たちの目指す総合について話し合う。
- 学校や地域に役立ち、「残る」という視点で学習材を決定する。
- 見直しをもつために、大まかな年間の学習計画を立てる。

今年度で卒業をするけれど、来年度の50周年のお祝いの年に向けて、私たちが形として残るようなものをしていきたい。そして、私たちが大好きな日野南のまちを、他学年の日野南っ子や地域の人達をもっと好きになってほしい。だから、日野南の魅力を写真展や写真集を通して、伝えていこう。まずは、写真を実際に撮ってみたい。

2 まちの魅力が伝わる写真を撮ろう (総合15時間)

- 東京カメラ部のTさんから写真の撮り方を教わり、まちの魅力が伝わる写真の撮り方について考える。
- まちの魅力について話し合い、グループ分けをする。
- グループでめあてを決めて写真撮影をする。

写真を撮ってみたいけれど、その場所の魅力があまり伝わらない気がする。Tさんに相談してみて、写真の撮り方を学ぼう。角度や天気、構図を工夫しながら撮影することで自分たちの伝えたい思いが伝わるのがわかったね。まちの魅力についてしっかりと話し合ってから、テーマを決めて撮影しよう。

3 「WE♡日野南写真展」を開催しよう (総合25時間)(国語6時間)

- 今まで撮影してきたもので、『ミニ写真展』を開催する。
- 『ミニ写真展』でもらった意見をもとに、日野南フェスティバルに向けて再撮影をする。
- Google photoのやり方や、使用ルール、注意点について調べる。
- 写真集と作成に向けて構成を考える。
- 日野南フェスティバルで「WE♡日野南写真展」を開催し、今後の活動についても報告する。

グループで撮影してきたもので、自分たちの思いが伝わるか『ミニ写真展』で意見をもらって確かめよう。「地域の人のあたたかさ」をもっと伝えてほしいという意見があったね。今までの撮影した写真を見直しながらいちどろ撮影をしてみよう。写真集やHPの構成や制作のことも考えながら、日野南フェスティバルで写真展を開催しよう。写真展で「Google photo」の説明もしていこう。

4 まちの人とつながる「WE♡日野南写真集」をつくろう(総合15時間)

- 写真展で使用した写真から、写真集の構成を考える。
- Google photoで子どもたちや地域の人から送られてきた写真の中から写真集に載せるものを決める。
- 予算から、発行冊数を計算し、印刷の依頼をする。

学校にもまちにも残る写真集をつくろう。今まで撮影したものの中から選ぶけど写真のサイズを工夫したり、写真のタイトルは載せるべきか考えたりする必要があるね。Tさんにも相談をしながら自分たちの思いが詰まった写真集をつくろう。予算からどれくらい発行できるか調べて印刷依頼をしよう。印刷ができたらまちの人に配ろう。



5 届けよう「WE♡日野南写真集」(総合10時間)

- 発行冊数から配付する人、場所について考える。
- 写真集を郵便局やicocaなどの施設に置いてよいか交渉をする。
- 写真集を見た人からのメッセージを読む。

まちの方々の優しさや、日野南のまちの魅力について改めて気付くことができたね。この写真集が多くの人の手に届いて、ずっと残ると嬉しいな。自分たちが日野南の一員だと感じる事ができた。卒業をしてからも、日野南小学校と日野南のまちと積極的に関わっていきな。

② 事業実施報告書詳細

学校名 日野南小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
20	教室	まちに取材・撮影 ↓ クラス内報告 ↓ 写真集作成 ↓ 写真集完成 ↓ 写真集印刷依頼		まちの取材・撮影を通して、写真を丁寧に作りたいという思いを強くもった。
10	教室	写真集配付場所検討 ↓ 写真集配付 (全校児童、学校運営協議会、親父の会、特別学習支援員、地域パトロール、地域の施設)		写真集を全校児童に配り、喜ぶ下級生の姿を見て、達成感を感じていた。また、地域の方へ配付し、お礼の手紙をいただいたことで、自分達の活動に価値があったことに気づけた。

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>自分達の感じている「まちの魅力」と地域の方が感じている「まちの魅力」を比較し、よりよい写真集を作成するために、プレ写真展を2回開催し、見に来てくれた方から意見をいただいた。その意見をもとに写真集に載せる写真を選定することができた。また、これらの活動により今まで以上に地域に目を向けて活動をすることができた。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>撮影し、写真集として地域に配付するという目的で活動を進めていく中で、「地域の人」や「子ども」を撮影したいという気持ちをもった。しかし、写真を地域に配るという点で許可をとらなくてはいけなかったり、許可をいただけない場合があったりしたので材の難しさを感じた。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>本学級の児童は自己表現が苦手であり、自分の意見を伝えることに消極的であった。しかし、誰にでもできる「写真を撮る」という活動を通して、写真で自分の思いを表現することにやりがいを感じている児童が多くいた。また、少しずつ自分の写真と友達の写真を比較して意見交換することができた。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>写真集を配付したことで、地域の方と関りをもつことができた</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>今後も活動が形になったり、達成感を感じたりするものになるように年間の単元計画を事前に考えることが必須だと感じた。また、子どもの1年間のゴールをしっかりと思い浮かべどんな活動を入れていくべきか考える必要があると感じた。</p>